

茨城県知事 殿

学校名 稲敷市立桜川中学校

代表者氏名 校長 辻井 浩一 印

愛鳥モデル校活動実績報告書

令和元年度の愛鳥活動については下記のとおり実施したので、愛鳥モデル校指定要項第 9 条第 2 項の規定により、その実績を報告します。

記

1 稲敷市浮島地区「妙岐の鼻」での野鳥観察

- (1) 実施学年 2 年 4 2 人
- (2) 日 時 令和元年 5 月 2 3 日 (木)
- (3) 場 所 稲敷市浮島地区「妙岐の鼻」
- (4) 講 師 茨城県環境アドバイザー 早瀬長利先生
- (5) 妙岐の鼻について

浮島地区の稲敷大橋付近に広がる湿地帯で、この場所が霞ヶ浦に鼻のように突きだしていることから、「妙岐の鼻」と呼ばれている。バードウォッチングの場所として人気を集め、全国的に棲息地が少ないコジュリン、オオセッカなどの重要な繁殖場所となっている。また、オオヨシキリ、コヨシキリなどの野鳥も見られる。

(6) 活動内容

講師の方に説明をしていただきながら、双眼鏡を使用して野鳥の観察をした。野鳥の観察だけではなく鳥の鳴き声を聞くことができ、生徒は興味・関心をもちながら活動に取り組んでいた。

(資料 1 : 観察の様子)



2 オオヒシクイの観察会

- (1) 実施学年 1年37人
- (2) 日時 令和元年12月6日(金)
- (3) 場所 稲敷市稲波干拓
- (4) 講師 稲敷雁の郷友の会
- (5) オオヒシクイについて

オオヒシクイは越冬のためにユーラシア大陸の亜寒帯、寒帯からやってくるガンの1種で、国の天然記念物に指定されている。

(6) 活動内容

国の天然記念物に指定されているオオヒシクイについて、双眼鏡を活用して観察したり、DVDで詳しい説明をしていただいたりした。当日は群れで飛んでいる様子や、干拓に降り立つ様子を実際に観察することができた。生徒からは、「稲敷の誇りである天然記念物のオオヒシクイを、これからも大切にしていこう」という感想を聞くことができた。(資料2：観察の様子)



3 校内野鳥観察コーナーの設置

観察への興味・関心を高めることをねらいとし、校内に、野鳥観察用の双眼鏡3台を常設したり、野鳥に関する写真を掲示したりした。生徒は気軽に双眼鏡を覗くことができ、野鳥を身近な存在として感じられるようにした。(資料3：観察コーナーの設置の様子)

